

行仙宿の巡回整備

◇実施日 1月26日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、濱野兼吉、大江加予子・徳子、

畑林秀味・清子、湯川一郎、阪口雄二、梶野照雄、高階鈴子・美根子、須崎由香、片岡美保(鳥羽市)

14名

今年の3回目の行事になるが、小屋の整備は初めてになる。



役場駐車場に集合



登山口に着く



マキ材などを降ろす

梶野君は正月飾りを早く片付けるべし、と行仙宿の巡回整備を組み入れたようだが、この時期は寒さ、風雪や路面の凍結も予想されるので、正月飾りの片付けだけを行い、他の作業は予定せずに実施し

た。

そんな中、大江、畑林さんからお供えの餅でぜんざいを作ると申し出を頂いた。また、昨年末に杉本さんから剪定したミカンの枝やトイレットペーパー、牛乳パック、新品のホウキなどを頂いたので一部を持って行った。杉本さんは身の周りに在る物も、これは小屋で使えるか、これがあると便利だ、など常に思っていてくれる。ミカンの枝もストーブに入るサイズに切られていて、手間なくストーブに投入できた。真直ぐな枝は無かったので小さく切るのに時間がかかっただろう。我々も見習わなければならない。



行仙宿に到着



餅を焼く



ぜんざいを頂く

午前8時半、下北山村役場駐車場に14名が終結。須崎さんの友人、片岡美保さんは早朝5時半に鳥羽市を出て初参加された。

4台で登山口を目指す。浦向のゲートは今年初めての開錠、慣れないので少し手間取る。R425も四ノ川林道にも雪は全くなかった。モノレールに梶野、沖崎が乗って登る。梶野君はコジマハウスから

水タンクを片手に小屋へ先行。沖崎は12名の到着を待つ。先頭はやはり若い須崎、片岡のお二人だった。マキ材の袋を二つずつ持って小屋へ。2番手の阪口君も二袋を持ってくれたので、あとの荷物は無くなった。全員の通過を待つて最後尾で小屋に着いた。すでに発電機が動いていて掃除機掛けしていた。炭に火を点けて餅を焼く準備も進んでいた。持ち上げたマキ材の整理やお堂の片付けなどを行う。今日一番の年長者である児嶋さんはストーブの火を点け、バッテリーの残量確認。終了後はブロワーを持ち出し小屋周りや水場径を掃除していた。次々と作業を続け、じつとしている時間がない。杉本さんと同様に大いに見習うべきだ。「ぜんざいできたよ、食べるで」の声で作業を終える。昼食には少し早いので先にぜんざいを頂く。ウマイ、ウマイとお代わりが続出。昼食後にもぜんざいを食べる人もいて大好評だった。



本日の参加者

気温はプラス6℃

下山完了

早い昼食を済ませて12時に下山開始、道路と同様に小屋周辺、登

山道に雪は無かった。午後1時前に登山口を出て役場駐車場に戻り解散した。

50年誌の発送は終了したが、6月14日の祝賀会の案内発送が控えていて、3月からは春季巡視も始まる。多忙な時期になりそうだ。

(記：沖崎)

行動タイム

下北山村役場駐車場 08:40→09:17 補給路登山口→09:55 行仙宿 12:05→12:36 補給路登山口→13:18 下北山村役場駐車場